



報道関係各位



2020年11月30日

ビール酒造組合

2020年冬「STOP! 20歳未満飲酒」プロジェクトについて

ビール酒造組合（会長代表理事：塩澤 賢一）及び会員であるビール5社（アサヒビール(株)・キリンビール(株)・サッポロビール(株)・サントリービール(株)・オリオンビール(株)）は、20歳未満の人の飲酒防止を目的として2005年より「STOP! 未成年者飲酒」プロジェクトを展開してまいりました。

本年は4月に引き続き、12月に「STOP! 20歳未満飲酒」プロジェクトとして、キャンペーンを実施いたします。今回のキャンペーンでは、全国8エリア（首都圏・中京地区・京阪神地区・四国地区・札幌市・仙台市・広島市・福岡市）の電車内・沖縄県のバス車内での交通広告、SNS等のデジタルメディア広告において、20歳未満飲酒防止のメッセージ告知を行っていきます。また、日本フランチャイズチェーン協会様、日本ボランティアチェーン協会様、日本カラオケボックス協会連合会様の協力を得て、各協会加盟社の店頭・店舗で、「STOP! 20歳未満飲酒」のシンボルマークをデザインしたPOP類を使用し、20歳未満飲酒防止の告知を行っていきます。

毎年、本キャンペーンの効果測定を実施しておりますが、キャンペーンの認知度は継続して約9割となっており、20歳未満飲酒防止に対する理解促進に関し、確実に成果を挙げております。

■キャンペーン展開時期

2020年12月1日(火)～12月31日(木)

■展開メッセージ

「なぜ、20歳未満での飲酒はいけないのか」を、主に20歳未満の人の身体への影響の観点と、20歳未満の人を取り巻く社会の観点からメッセージを作成し展開します。（メッセージは別紙参照）

■主な展開内容

1. 交通広告・デジタルメディア広告

全国8エリア（首都圏・中京地区・京阪神地区・四国地区・札幌市・仙台市・広島市・福岡市）の電車内・沖縄県のバス車内での交通広告、SNS等のデジタルメディア広告において、20歳未満飲酒防止のメッセージ告知を行っていきます。

2. コンビニエンスストア・スーパーマーケット・カラオケボックスの店頭・店舗での告知

日本フランチャイズチェーン協会様、日本ボランティアチェーン協会様、日本カラオケボックス協会連合会様の協力を得て、各協会加盟社の店頭・店舗で、「STOP! 20歳未満飲酒」のシンボルマークをデザインしたPOP類を使用し、20歳未満飲酒防止の告知を行っていきます。



(別紙)

《メッセージ》

きっぱり、断る。
STOP! 20歳未満飲酒

「なぜ、20歳未満の飲酒が法律で禁止されているのか？それは私たち10代のだいじなカラダを守るため」という自覚。

STOP! 20歳未満飲酒

www.stop-underageddrinking.com
JALDI KIRIN * SAPORE SUTORY OSAI

「きっぱり、断る。STOP! 20歳未満飲酒」

「なぜ、20歳未満の飲酒が法律で禁止されているのか？それは私たち10代のだいじなカラダを守るため」という自覚。

大人が、すすめない。
STOP! 20歳未満飲酒

10代の飲酒のリスクを知った。「まあ、飲めよ」なんて、絶対に言えなくなった。

STOP! 20歳未満飲酒

www.stop-underageddrinking.com
JALDI KIRIN * SAPORE SUTORY OSAI

「大人が、すすめない。STOP! 20歳未満飲酒」

10代の飲酒のリスクを知った。「まあ、飲めよ」なんて、絶対に言えなくなった。

この件に関するお問合せ先：

ビール酒造組合 広報担当

東京都中央区銀座 1-16-7 TEL 03(3561)8386 FAX03 (3561) 8380

ホームページ <https://www.brewers.or.jp>